

えん - enn -

広げよう、支え合いの輪。

2019
創刊号

Vol.1

2015年4月の介護保険の改正により、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始され、“住民同士の支え合い・助け合い”の体制を広げていくことになりました。住民や専門職・関係機関が協力し、支え合いの地域づくりをとおして、高齢になってもいつまでも元気に暮らせる大郷町を目指します。



土橋地区で座談会が開催されました

東北福祉大学の学生と一緒に近所助け合い体験カードを使い「助けて欲しい」を気軽に言える環境づくりの大切さを学びました。

目次

- 住み慣れた大郷町で暮らしつづけるために・・・
- 生活支援コーディネーターをご存知ですか？
- 『協議体』が発足されました！
- 暮らしをもっと豊かに！ 地域のお宝情報

住み慣れた地域で暮らしつづけるために…

広げよう、支え合いの輪！

超高齢社会になると予想されている日本。大郷町でも、10年後には人口の4割を超える人々が高齢者になると予想されています。3人に1人が高齢者ということです。

誰しも、時間の経過とともに足腰が痛くなったり、物忘れが増えたり、介護が必要となることがあります。そうなったときでも、地域の中に支え合い・助け合いの関係があれば住み慣れた地域で暮らしつづけることができます。普段何気なく行っているお茶のみでの交流や井戸端会議、ちょっとした見守りや声掛け、おすそ分け等、少しの気遣いが健康づくりや孤立防止に役立ち、今後の生活に影響します。ちょっとした気かけあいがとても重要なのです。

いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らしつづけるために『困ったときはお互いさま』という気持ちを忘れずにいたいですね。

①人が集まれば
仲間づくりに繋がります



②仲間が増えれば
支え合いが生まれます



④笑顔や安心のある地域は
自然に人が集まります



③支え合いは地域に笑顔と
安心をもたらします

(地域支え合い推進員)

生活支援コーディネーターをご存知ですか？

大郷町では、住民と専門職が協力して地域づくりができるよう、大郷町社会福祉協議会の千田まさえさんに『生活支援コーディネーター』として、活動してもらっています。主な活動は地域のお宝(住民の何気ない支え合い活動)探しです。

積極的に地域を巡回中ですので、千田さんがやってきたときはぜひ快く仲間に入れてくださいね！



千田まさえです

自己紹介

1974年生まれ。大崎市在住。大郷町社会福祉協議会に勤めて早10年。好きなことは月を見ること。よろしくお願いします。

地域が元気になるための話し合いの場

話し合いのモットーは
“わいわいがやがや”と！



協議体ができました

この活動いいね！
こんなことできるかも！

○ 協議体
× 抗議体



今年2月から『大郷町地域支え合い推進協議体』の活動が始まりました。協議体とは、こんな地域にしていきたいに少しでも近づいていけるよう、話し合いをする場です。決して現状の不平不満を言い合う“抗議体”ではありません。より豊かに暮らせるよう、住民と行政、各種団体がそれぞれの立場で知恵を出し合い、いまある活動を活用しながら、新しい活動をつくったり、理想の地域の実現に向けて取り組みます。

暮らしをもっと豊かに

地域のお宝情報

第1弾

石原地区城内班の集いの場

石原地区の城内班には元々、女性が集まる会がありました。「移住してきた方を歓迎し、仲良くしていきたい！」との思いで、3年前から住民同士の交流会を年2回開催しています。

今回は子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、バーベキューを行っていました。皆さん和気藹々と過ごし、石原地区の伝統や文化を聴く良い機会となっています。



お宝情報大募集！

『こんな活動やっているよ』『私たちの活動も紹介して』などぜひ教えてください。取材に行きます♪

☎大郷町社会福祉協議会生活支援コーディネーター
千田(022-359-2753)





縁
があつて
円
となる。



(おーさと)

郷

(制作) 大郷町地域支え合い推進協議体
(問い合わせ先) 大郷町役場保健福祉課長寿・介護係

〒981-3592

大郷町粕川字西長崎5-8 (庁舎内1階)

☎022-359-5507 FAX022-347-6123